

口永良部島

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

概況

火山性地震の発生回数はやや多く、新岳火口北側の噴気が見られるなど、火山活動はやや活発でした。

噴煙活動の状況

27日に、新岳火口北側の噴気地帯から白色でごく少量の噴煙が高さ30mに上がっているのを観測しました(図1)。

地震・微動活動の状況

火山性地震は日に0～11回で、月回数は72回(3月:170回)とやや減少しました(図2)。火山性地震の震源は、新岳火口付近に3個求まりました(図3)。火山性微動は日に0～3回で経過し、月回数は23回(3月:21回)でほとんど変化はありませんでした(図4)。

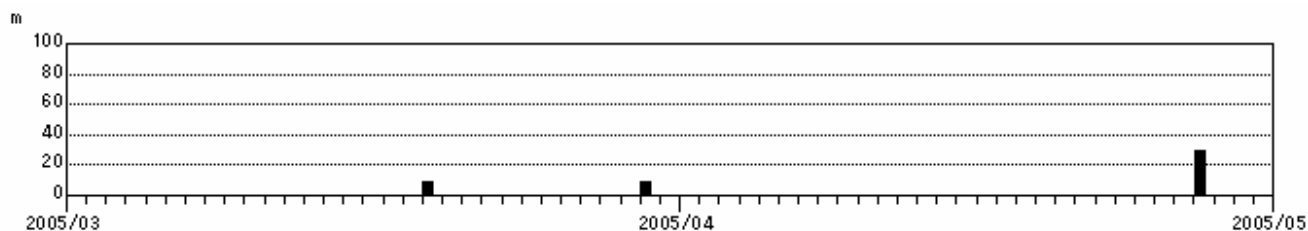
火口や噴気地帯の状況

21日から26日に実施した現地観測では、新岳の噴気活動や火口の状況に大きな変化は見られませんでした(図6、図7)。



(a) 4月27日08時10分の映像
白色でごく少量の噴煙が高さ30mに上がる。

(b) 4月27日08時50分の映像
白色でごく少量の噴煙が高さ10mに上がる。



(c) 日最高噴煙高度(2005年3月1日～4月30日)

図1 監視カメラの映像と日最高噴煙高度

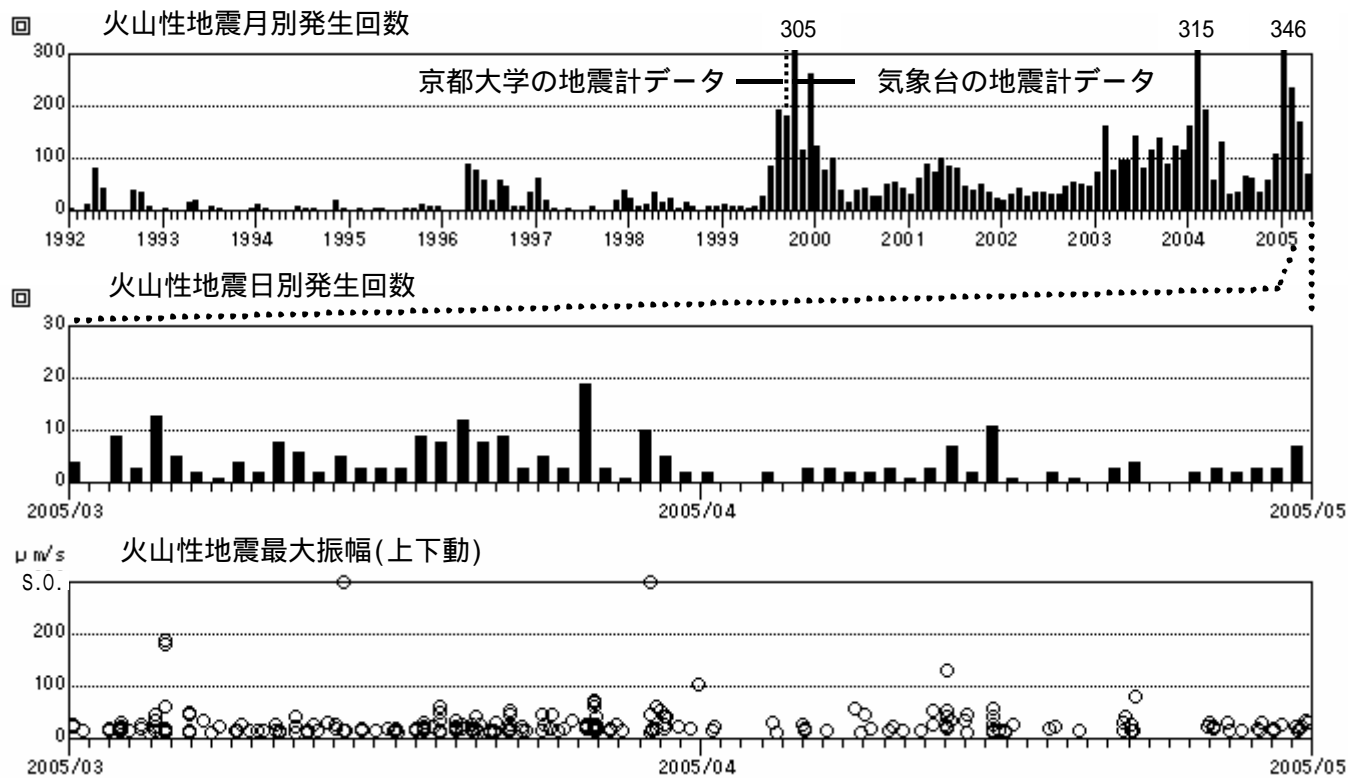


図2 火山性地震活動経過図(1992年1月1日～2005年4月30日)
1999年9月12日までは、京都大学のデータを利用

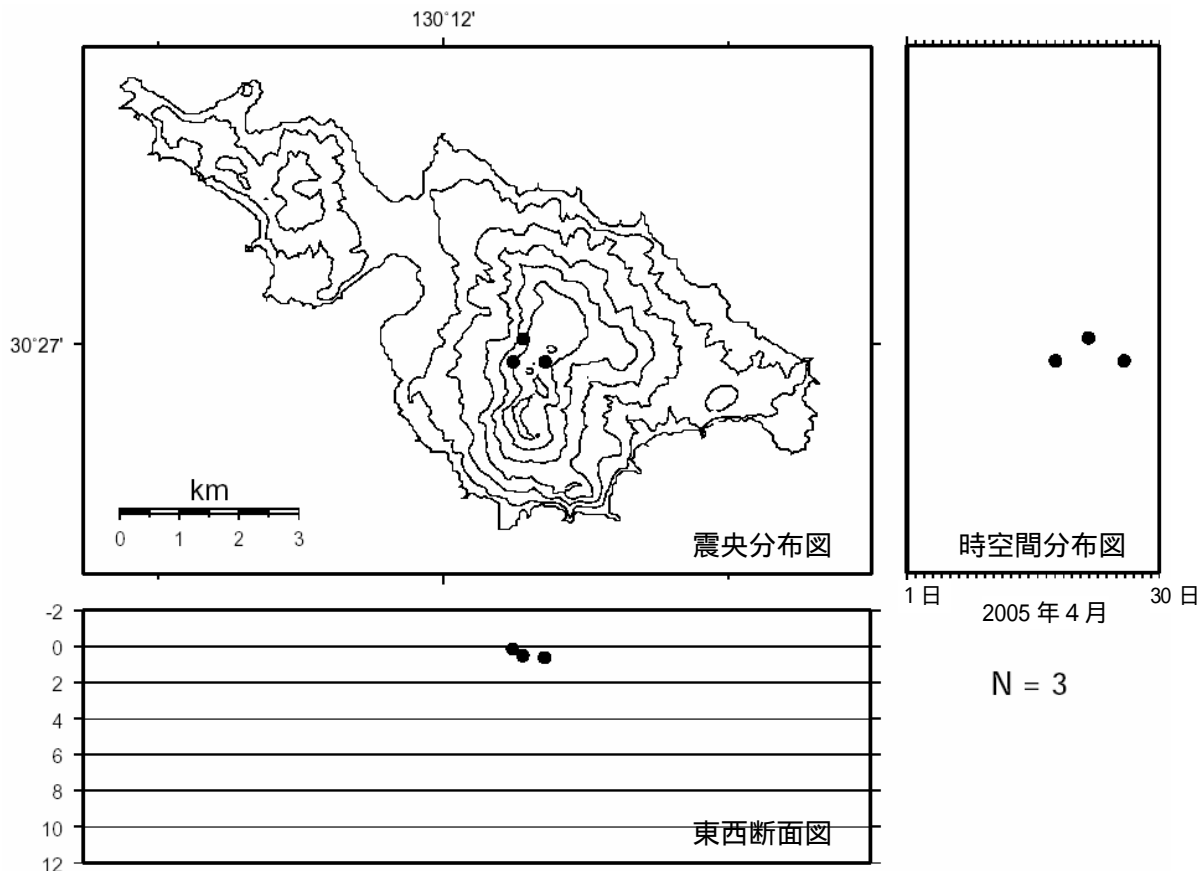


図3 火山性地震の震源分布(2005年4月1～30日)
本資料は、気象庁のデータを用いて作成した。

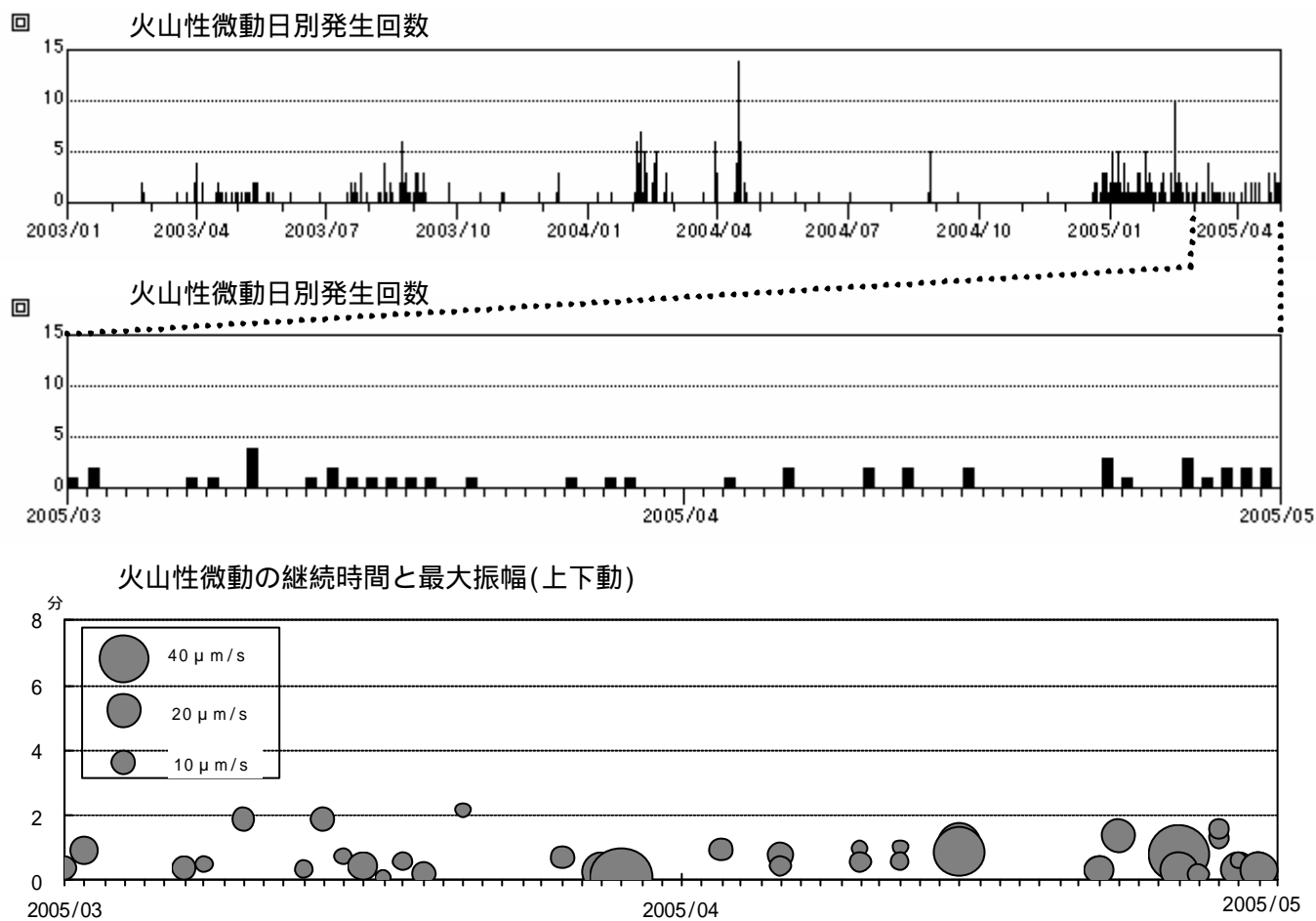


図4 火山性微動活動経過図(2003年1月1日~2005年4月30日)

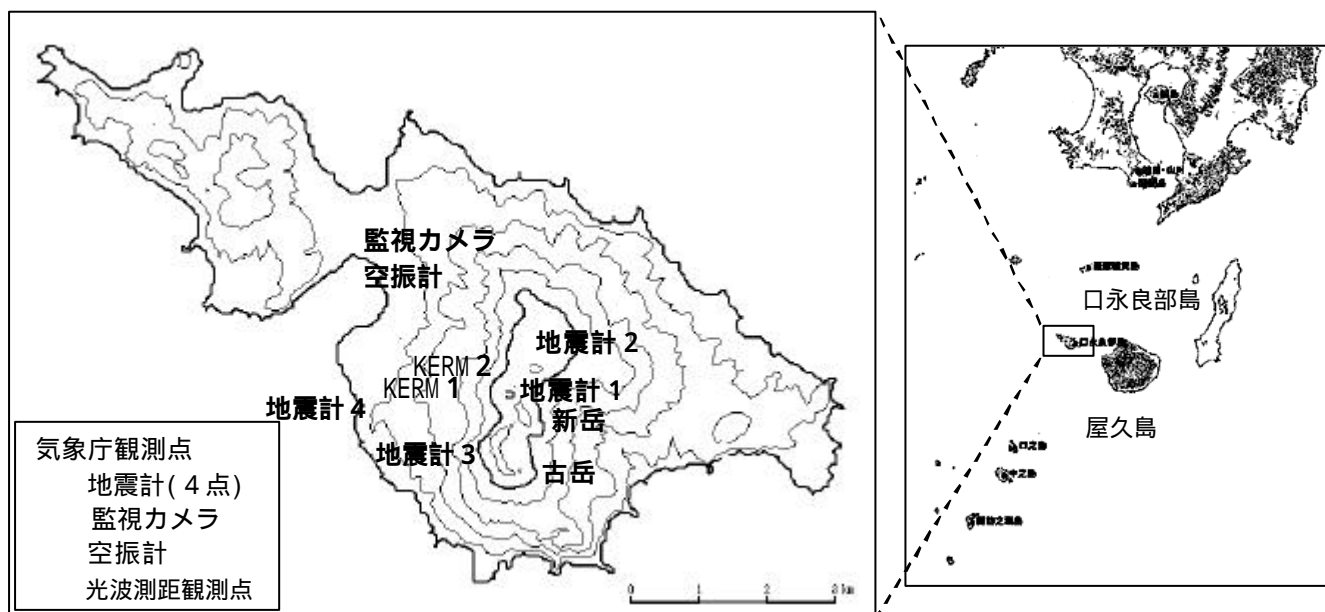
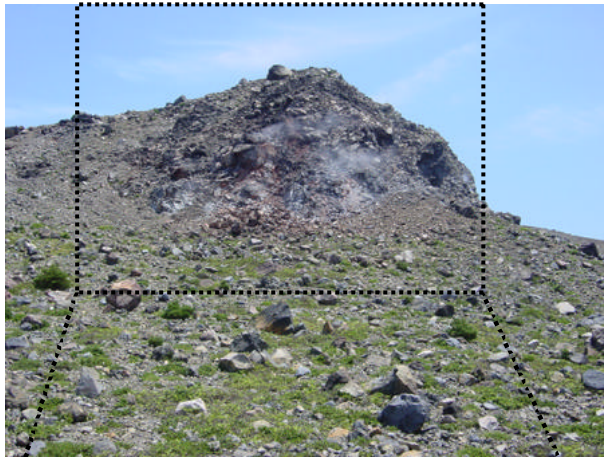
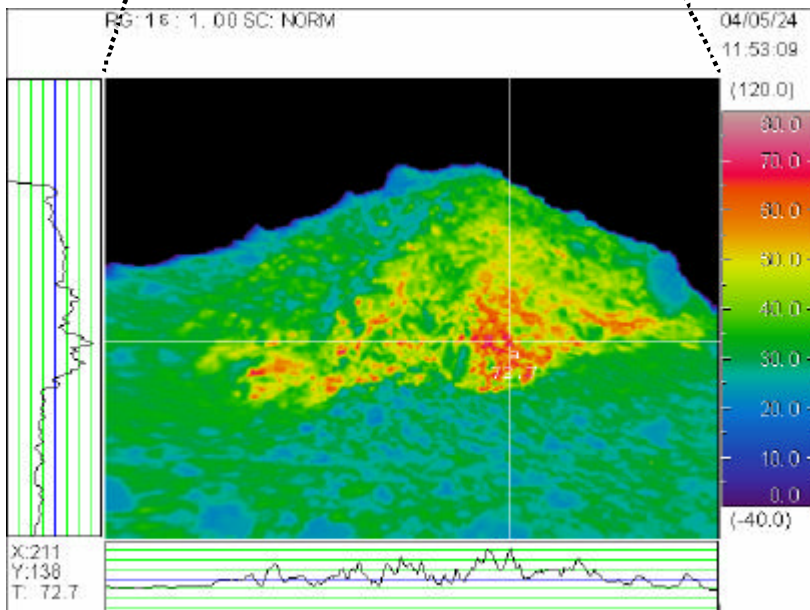


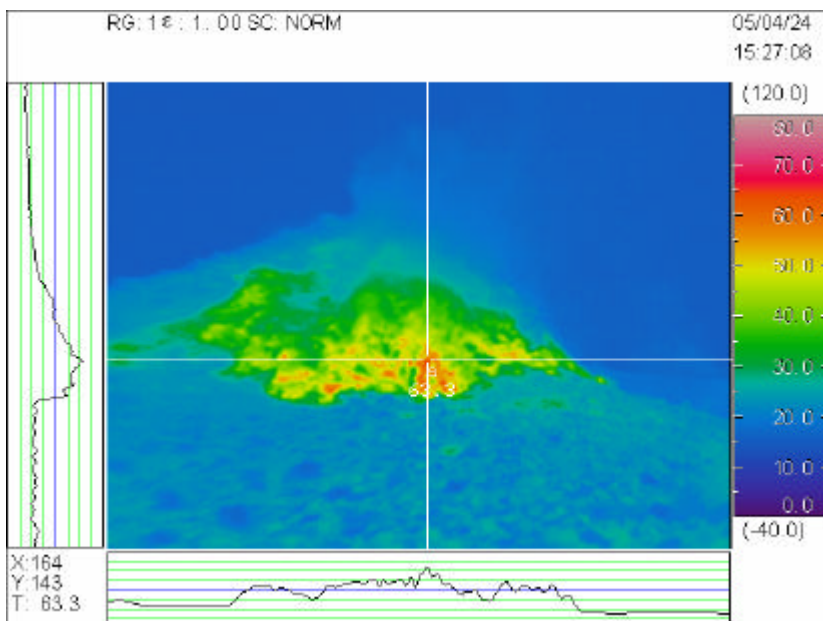
図5 観測点位置図



(a)2004 年 5 月 24 日の写真
白色でごく少量の噴気が出て
いる。



(b)2004 年 5 月 24 日の熱映像
熱異常域の最高温度は 72.7
日射の影響で 30 以上の領域
が広がっている。



(c)2005 年 4 月 24 日の熱映像
熱異常域の最高温度は 63.3
曇天のため、(b)より約10 低い。
熱異常域の広がりや新たな高温
部は見あたらない。

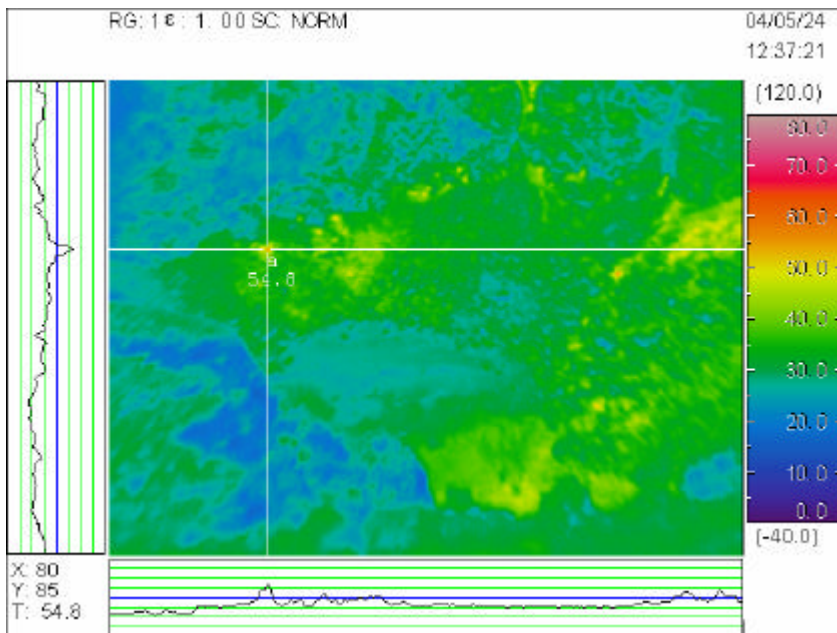
図 6 新岳北側の噴気地帯の写真と熱映像



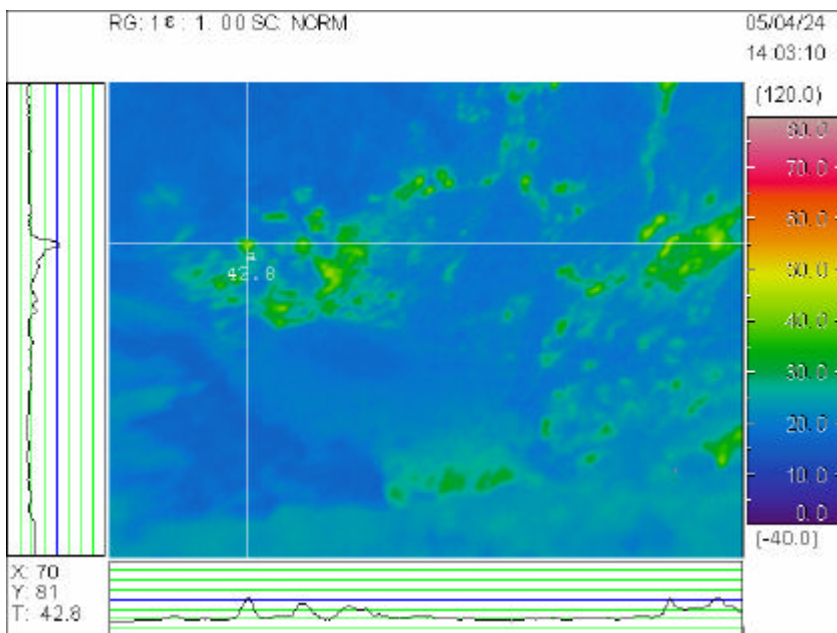
(a)2004 年 5 月 24 日の写真



(b)2005 年 4 月 24 日の写真



(c)2004 年 5 月 24 日の熱映像
熱異常域の最高温度は 54.8
日射の影響で 30 以上の領域
が広がっている。



(d)2005 年 4 月 24 日の熱映像
熱異常域の最高温度は 42.8
曇天のため、(c)より約 12 低い。
熱異常域の広がりや新たな高温
部は見あたらない。

図 7 新岳火口底の写真と熱映像